

「小商い(こあきない)」に新しい可能性を

いすみ市地域おこし協力隊の江頭です。いすみ市にはマルシェ（マーケット）や朝市などの場が豊富にあり、「小商い、（思いを優先させたものづくりを身の丈サイズで行い、顔の見えるお客さんに商品を直接手渡し、地域の小さな経済圏を活発にさせる商い）」という選択肢が新しい働き方として注目されています。「移住したいまち」として有名になりつつあるいすみ市が、今後「小商いしやすいまち」としてさらに発展していくことを目標とし、現在二つの取組みを進めています。

【マルシェ出店に使える軽トラキャンパー(モバイルハウス)及び軽トラキッチンカーの製作】

市内でサトウキビを生産し、大原漁港「港の朝市」でサーターアンダギーやサトウキビジュースを販売している「おもてなしの会」にご依頼いただき、様々な方のご協力を得ながら、キッチンカーを製作しました。今後、港の朝市に出店予定です。この取組みによって、固定の店舗を持たない小商いの幅が広がることを期待しています。



軽トラキャンパー



軽トラキッチンカー

【いすみ市のミツロウを使った小物の製作やワークショップの開催】

ミツロウとはミツバチの巣から蜂蜜をとった後に残るものを、湯で煮溶かしたりすると採取できます。それらを使ってろうソクやハンドクリーム、エコラップなどを作ると、抗菌性や保湿性が抜群です。いすみ市の美味しい蜂蜜やミツロウをPRすることで、ミツバチや養蜂家の方を応援し、農業の活性化にもつながればと考えています。市内の養蜂家の方、ミツロウや蜂蜜を使ったお土産づくりなどに興味がある方は、是非ご連絡ください。

(問合せ先) 江頭 桜子 egashira.isuming@gmail.com ☎070-3976-9268

地域おこし協力隊とは、

条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から地域の活性化に意欲のある人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、地域課題の克服と共に本人の定住化を図ろうというものです。

【問合せ先】 いすみ市地域おこし協力隊 大原庁舎（2階） 企画政策課内 ☎62-1382

